

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業：事業別評価シート

目 次

1. みえ森と緑の県民税基金積立金事業〔継続〕	1
2. 災害に強い森林づくり推進事業	
(1) 災害緩衝林整備事業〔継続〕	2
(2) 土砂・流木緊急除去事業〔継続〕	3
3. 森林情報基盤整備事業【新規】	4
4. 森を育む人づくり推進事業	
(1) 森を育む人づくりサポート体制整備事業〔継続〕	5
(2) 森林環境教育・木育拠点整備事業【新規】	6
(3) 森里川海つながり推進事業【新規】	7
(4) 森林とふれあう自然公園環境整備事業【新規】	8
(5) みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業【新規】	9
5. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	
(1) 流域防災機能強化対策事業【新規】	10
(2) 森林再生力強化対策事業【新規】	11
6. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業〔継続〕	12
7. みえ森と緑の県民税制度運営事業〔継続〕	13

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート1

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成25年度
事業名	みえ森と緑の県民税基金積立金事業					
基本方針区分	-					
基本方針区分	-					
対策区分	-					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	1,090,828,000				
	決算額(円)					
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する施策に要する経費の財源に充てるため、みえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。					
事業の目標	-					
事業概要	令和元年度のみえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
積立てた基金を財源として各種事業を実施し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進しています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。
-------	--------------

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート2-(1)

担当部課名	農林水産部治山林道課		
作成年月日	当初	令和元	年8月1日
	中間	令和2	年1月31日
	実績	令和	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	災害に強い森林づくり推進事業					
細事業名	災害緩衝林整備事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算 額 等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	348,383,000				
	決算額(円)					
事業の目的	流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林等において、流木や土砂の流出に対して緩衝効果を発揮する森林の整備を行います。また、それらの事業投入によってどの程度の効果があるのかを明らかにするために、科学的な視点での研究・調査を実施します。					
事業の目標	実施箇所数： 30箇所					
事業概要	<p>流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林において、流木や土砂の流出に対して緩衝効果を発揮する一定幅の森林について調整伐等を実施し、緩衝機能を高める森林整備を行います。</p> <p>1 事業実施</p> <p>(1) 溪流内の倒木や枯損木、根の浮き上がった木、劣勢木等、流木の発生源となる危険木の伐採</p> <p>(2) 溪流沿いの立木における調整伐</p> <p>(3) 伐採木の山腹斜面での土砂止め等への利用、又は林外への搬出</p> <p>2 事業の効果検証にかかる調査・研究（林業研究所及び大学との共同研究）</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>1 実施箇所について、昨年度から実施候補地にかかる実施計画の作成を行い、森林所有者の土地使用承諾取得に取りかかるなど、早期発注に取り組んだ結果、27箇所を1月末現在で契約し、そのうち12箇所が完成しました。</p> <p>また、2月以降に3箇所の契約を予定しており、全体で30箇所の整備を進めています。</p> <p>2 事業の効果検証について、事業実施による表土流出抑制効果、成長促進効果、根系抵抗力を検証するための調査を継続して実施しています。</p> <p>3 事業のPRについて、令和元年12月7日にみえこどもの城で開催された「みえ子ども森の学びサミット」や各県庁舎及び市町村庁舎において、現場写真等の展示を行い県民の皆さんへの周知・理解の促進に努めています。</p>

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

担当部課名	農林水産部治山林道課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	災害に強い森林づくり推進事業					
細事業名	土砂・流木緊急除去事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算 単 等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	59,997,000				
	決算額(円)					
事業の目的	渓流内や治山施設に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与える恐れのあるものの除去を行います。					
事業の目標	実施箇所数： 3箇所					
事業概要	渓流内や治山施設に異常に堆積した土砂や流木について、搬出・除去を行います。 (1) 渓流内や治山施設等に異常に堆積した土砂や流木等の搬出・処理 (2) 必要に応じて簡易施設、土砂場等の設置					

【中間進捗】

中間進捗状況
1 実施箇所について、1月末現在で2箇所を契約しました。また、2月以降に1箇所の契約を予定しており、全体で3箇所の整備を進めています。 2 事業のPRについて、令和元年12月7日にみえこどもの城で開催された「みえ子ども森の学びサミット」や各県庁舎及び市町庁舎において、現場写真等の展示を行い県民の皆さんへの周知・理解の促進に努めています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。
-------	--------------

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート3

担当部署名	農林水産部森林・林業経営課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規	継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	森林情報基盤整備事業					
細事業名	-					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算額	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	77,757,000				
	決算額(円)					
事業の目的	<p>航空レーザ測量を実施して、詳細な森林資源情報を把握することで、効率的な森林管理を促進するとともに、精度の高い3次元地形データを取得して、災害発生の危険性の高い地域等を客観的に把握することで、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。</p> <p>また、航空レーザ測量によって把握できる尾根、谷等の詳細な地形や林相界等の情報を森林クラウドにより市町と共有することで、市町による森林の適正な管理の実行につなげます。</p>					
事業の目標	<p>1,200km² (12万ha) : 令和5年度 (三重の森林づくり基本計画: 次世代型森林情報活用プロジェクト)</p>					
事業概要	<p>航空レーザ計測の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 航空レーザ計測(レーザ照射点密度4点/m²) 約300km² (3万ha) (三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成) 森林資源解析【林相区分データ作成、単木解析、林分解析(平均胸高直径、平均樹高、平均形状比、立木本数密度、収量比数等)データ作成】 成果品: 森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成 					

【中間進捗】

中間進捗状況	<p>森林面積のほか、市町におけるデータ活用の意向や森林クラウドの導入状況等を踏まえ、津市、伊賀市、名張市地内を事業実施区域として選定し、398.2km²について航空レーザ計測及び森林資源解析を実施しています。また、新たに、大台町及び尾鷲市、紀北町地内244.9km²を追加して、航空レーザ計測を実施しています。なお、追加した地域については、森林資源解析を令和2年度に実施する予定です。</p>
--------	---

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。
-------	--------------

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート4-(1)

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	森を育む人づくり推進事業					
細事業名	森を育む人づくりサポート体制整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	31,057,000				
	決算額(円)					
事業の目的	「県民全体で森林を支える社会づくり」に資する取組として「森を育む人づくり」を進めるため、森林環境教育や木育、森づくり活動に取り組みやすい環境を整備し、みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により地域や学校等で行われる当該取組を支援します。					
事業の目標	地域に密着した森林環境教育・木育指導者数を200人育成します。(令和5年度末までの5ヵ年) このために、県内各地において地域で活躍する指導者の養成を行うほか、小中学校等において森林環境教育・木育の出前授業を実施します。また、指導者の活躍の場として、県内各地で木工教室や自然観察などを実施し、幅広く県民が木や森林にふれ学ぶ機会を創出します。					
事業概要	みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により学校や地域で実施される森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、指導者育成を行うほか、広域的・総合的なサポートを行います。 1 みえ森づくりサポートセンター 森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる総合窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林環境教育・木育指導者や森づくり活動団体の育成を行うほか、出前授業や各種相談対応など、広域的・総合的なサポートを行います。 2 森林環境教育・木育体制整備 森林環境教育・木育の教材を提供するとともに、みえ子ども森の学びサミットを開催します。					

【中間進捗】

中間進捗状況
みえ森づくりサポートセンターを運営し、森林環境教育・木育指導者養成講座、指導者「森のせんせい」のネットワークの構築やスキルアップ講座、学校教職員森林環境教育講座を開催しました。学校等からの要望に応じた出前講座を9箇所で開催したほか、第6回みえの森フォトコンテスト、子ども写真教室を開催しました。木育の促進を図るため、三重県産の木でできた遊具・玩具が体験できる「ミエトイ・キャラバン」を県内19か所で開催しました。 また、学校における森林環境教育や木育の活動発表の場として「みえ子ども森の学びサミット」を開催しました。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート4-(2)

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規・継続			事業開始年度	令和元年度
事業名	森を育む人づくり推進事業						
細事業名	森林環境教育・木育拠点整備事業						
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり						
対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり						
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算額(円)	15,313,000					
	決算額(円)						
事業の目的	森林環境教育・木育を推進するため、森林環境教育の活動フィールドの整備や、県有施設等を改修し木製遊具の常設を行うなど、多くの県民がいつでも森林環境教育・木育を体験できる場づくりを行います。						
事業の目標	県内各地域において拠点となる、森林環境教育の活動フィールド、木育体験施設の整備						
事業概要	県内の既存施設に森林環境教育実践フィールドや常設型の木育体験施設を新たに整備します。また、これらを「みえ森づくりサポートセンター」のサテライトとして位置づけ、木製遊具の貸出や森林環境教育・木育指導者の活躍の場として活用するなど、ソフト面でも充実を図ります。						

【中間進捗】

中間進捗状況	令和元年度から2年間の計画で、三重県民の森自然学習展示館の木育拠点施設の改修工事を進めています。令和元年度は県内の工業高等学校建築科と連携し、生徒がデザインした基本設計を基に、実施設計を関係者で打合せを行いながら進めています。令和元年3月に設計業務を完了し、令和2年度から建築施工に着手する予定です。
--------	--

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。
-------	--------------

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート4-(3)

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規・継続		事業開始年度	令和元年度
事業名	森を育む人づくり推進事業					
細事業名	森里川海つながり推進事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	5,950,000				
	決算額(円)					
事業の目的	企業、NPO等の自然環境保全団体等が個々に行っている野生生物の生息状況調査及び生物多様性保全活動をネットワーク化することで、森林環境教育の推進や森林の多面的機能の一つである生物多様性の保全を行い、地域の身近な水や緑の環境づくりを推進します。					
事業の目標	野生動植物の生息状況や分布情報のデータベース化					
事業概要	希少種・絶滅危惧種を含めた野生動植物の生息状況や分布情報を県で一元的に整備し、データベース化を行うことで情報共有を図り、森林環境教育の推進や生物多様性の保全に取り組みます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
「三重県レッドデータブック2015」に掲載されている「希少野生動植物種主要生息地（ホットスポット）」67箇所を地理情報システムで利用できるよう電子化するとともに、普及用の地図を作成しています。また、希少種の保全など、生物多様性推進施策に必要な情報を把握するため、野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類）の生息状況調査を県内160箇所委託により実施しました。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。
-------	--------------

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート4-(4)

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	森を育む人づくり推進事業					
細事業名	森林とふれあう自然公園環境整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域に身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	15,350,000				
	決算額(円)					
事業の目的	地域のNPOや団体、市町等と連携して、身近な自然公園の園地や歩道等を活用した森林環境教育セミナーやガイドツアー等の取組を推進するとともに、活動のフィールドとなる園地や歩道等の施設の安全点検や改修などの環境整備を行うこととし、県民が森林にふれあう活動を推進する。					
事業の目標	地域との連携による自然公園施設等を活用した森林環境教育の活動					
事業概要	NPOや団体、市町等が自然公園の園地や自然歩道等を活用して実施している、あるいは実施を予定している森林環境教育セミナーやガイドツアー等の取組をブラッシュアップする。 フィールドとなっている自然公園の園地や自然歩道等において、活用されている施設の安全点検を行うとともに、きめ細かいサイン標識や説明看板の設置、歩道の階段や転落防止柵等の改修などを行う。					

【中間進捗】

中間進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 大杉谷登山歩道において、安全登山に向けた施設整備や自然保護活動及び森林環境教育を2回実施しました。 近畿自然歩道や園地及び三重県民の森などの自然公園施設で森林環境教育を2回実施し、令和2年3月までに3回実施する予定です。
--------	---

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	森を育む人づくり推進事業					
細事業名	みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	3,449,000				
	決算額(円)					
事業の目的	子どもたちの健全な心身の育成と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るため、野外体験指導者等と連携して、自然環境キャンプを試行的に実施するとともに、新たなプログラムを作成する。					
事業の目標	子どもたちが主体的に学ぶ新たなプログラムづくりと、それをもとにした自然環境キャンプの試行実施					
事業概要	<p>県内にある自然体験の施設や指導者と連携し、森林をフィールドとして子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶ新たなプログラムを作成するとともに、自然環境キャンプを試行的に実施する。</p> <p>新たなプログラムの作成では、三重県民の森等を森林環境教育の場として、自然体験活動を実践している指導者と連携し、子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶことのできるプログラムづくりを行う。</p> <p>また、新たに作成したプログラムをもとに試行的に自然環境キャンプを実施し、その内容を検証するとともに、最終的なプログラムを取りまとめる。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>先行事例の現地視察及び、野外体験指導者等と連携してプログラムの検討会を行い、試行キャンプのプログラムを作成しました。</p> <p>1月18日(土)、1月19日(日)に第1回試行キャンプの1日目、2日目のプログラムを実施し、2月に3日目のプログラムを実施します。また、2月から3月にかけて第2回施行キャンプを3日間実施します。</p>

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。
-------	--------------

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート5-(1)

担当部課名	農林水産部森林・林業経営課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業					
細事業名	流域防災機能強化対策事業					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり					
予算 額 等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額（円）	139,505,000				
	決算額（円）					
事業の目的	流域の防災機能を強化する面的な森林整備や獣害対策などの課題に県と市町が連携して取り組むため、「みえ森と緑の県民税」（連携枠）を市町に交付します。					
事業の目標	山腹崩壊の発生源となる斜面上部の0次谷（ゼロじだに）の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれのある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。 事業実施箇所：11市町 397.19ha					
事業概要	<p>人家等の保全対象から概ね2km以内の溪流沿いの森林であって、適正な管理がされておらず、流木や土砂の流出により下流に被害を及ぼす恐れがあり、以下のいずれかに該当する森林を対象に、市町が、森林所有者と当該森林の管理及び施業方法等について定めた協定を締結したうえで、間伐等の森林整備を実施します。</p> <p>(1) 間伐等（災害緩衝林一体型） みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化することができる森林</p> <p>(2) 間伐等（環境林・特定水源地域） 県ゾーニングが環境林、または三重県水源地域の保全に関する条例に規定する特定水源地域として指定されている森林</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況
11市町において304.36haの実施を見込んでおり、そのうち、263.36haが着手済み（うち33.35haが完了）となっています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実施報告後に入力する	* 実施報告後に入力する
効率性	* 実施報告後に入力する	* 実施報告後に入力する
公益性	* 実施報告後に入力する	* 実施報告後に入力する
情報発信度	* 実施報告後に入力する	* 実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に入力する。
-------	---------------

担当部課名	農林水産部森林・林業経営課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業				
細事業名	森林再生力強化対策事業				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年度
	予算額（円）	30,683,000			
	決算額（円）				
事業の目的	流域の防災機能を強化する面的な森林整備や獣害対策などの課題に県と市町が連携して取り組むため、「みえ森と緑の県民税」（連携枠）を市町に交付します。				
事業の目標	森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うICT等の新たな技術を用いた二ホンジカの捕獲等を支援し、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図ります。 事業実施箇所：7市町 43,866m（獣害防止施設整備） 1市 1箇所（二ホンジカの捕獲等）				
事業概要	<p>(1)獣害防止施設等整備 森林所有者等が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内で、健全な森林の造成・保全を目的として行う野生獣による森林被害の防止、野生獣の移動の制御等を図るための獣害防止施設等の整備に対して市町が支援します。</p> <p>(ア)植栽タイプ 伐採跡地等において、植栽とあわせて行う獣害防止施設等の整備</p> <p>(イ)天然更新・更新補助タイプ (ア)の事業区域と隣接し、林業経営に適さないことから天然更新等を図る伐採跡地等において行う獣害防止施設等の整備</p> <p>(ウ)獣害防止施設等補修 豪雨等で破損した既設の獣害防止施設等の補修</p> <p>(2)二ホンジカの捕獲等 市町が、市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、二ホンジカの生息密度を適正な範囲に誘導していくため、獣害防止施設等の整備箇所周辺で、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施し、効果検証に取り組みます。</p>				

【中間進捗】

中間進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防止施設等の整備については、7市町において39,392mの実施を見込んでおり、そのうち、10,392mに対する支援が完了しています。 ・二ホンジカの捕獲等については、1市1箇所着手済みとなっています。
--------	--

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入する。

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート6

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課				
作成年月日	当初	令和	元	年	8月1日
	中間	令和	2	年	1月31日
	実績	令和		年	月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業					
細事業名	—					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり、2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5つの対策全て					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額（円）	379,798,000				
	決算額（円）					
事業の目的	森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫して森林づくり等の施策を展開します。					
事業の目標	—					
事業概要	<p>1市町当たり500万円の均等配分に加えて、森林面積や人口を算定基礎として算定する「基本枠交付金」と、平成30年2月刊行森林・林業統計書に記載されている森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町からの事業計画申請に基づいて「加算枠交付金」を交付します。加算枠交付金の5年間の累計申請上限額は、1,000万円とします。</p> <p>交付の対象とする事業は、事業実施の3原則を満たしたうえで、2つの基本方針及び5つの対策に沿った事業としますが、森林環境譲与税と同一の事業には充当できません。また、次の見直しまでの期間に市町交付金事業の財源に充てるための基金の積立も交付の対象とします。</p>					

【中間進捗】

中間進捗状況	<p>29市町107事業（内、21事業が完了、68事業が実施中、10事業が未着手、8事業が基金積立事業）</p> <p>対策区分1：3市町、3事業（内、完了0、実施中2、未着手1、基金積立0）</p> <p>対策区分2：24市町、38事業（内、完了2、実施中29、未着手4、基金積立3）</p> <p>対策区分3：17市町、29事業（内、完了11、実施中14、未着手4、基金積立0）</p> <p>対策区分4：14市町、23事業（内、完了5、実施中13、未着手1、基金積立4）</p> <p>対策区分5：10市町、14事業（内、完了3、実施中10、未着手0、基金積立1）</p>
--------	---

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。
-------	--------------

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート7

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	令和	元 年 8 月 1 日
	中間	令和	2 年 1 月 31 日
	実績	令和	年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	令和元年度	区分	新規	継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	みえ森と緑の県民税制度運営事業					
細事業名	—					
基本方針区分	—					
対策区分	—					
予算額等	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算額(円)	19,362,000				
	決算額(円)					
事業の目的	「みえ森と緑の県民税」の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知、みえ森と緑の県民税評価委員会の運営等を行います。					
事業の目標	みえ森と緑の県民税評価委員会の円滑な運営 令和元年度評価委員会開催回数：3回以上					
事業概要	みえ森と緑の県民税評価委員会の運営ほか みえ森と緑の県民税を活用した事業結果等について調査審議する「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営するほか、リーフレットなどの啓発物等を作成します。					

【中間進捗】

中間進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・税の活用を広報するため、過年度の事業結果と令和元年度からの新しい制度を掲載したリーフレットを作成し、市町等に配布したり、テレビやラジオ等を媒体に、広く県民への周知を図りました。 ・平成30年度事業成果報告会を開催し、当該税を活用した事業の成果を市町担当者と共有しました。 ・「みえ森と緑の県民税評価委員会」を開催し、同委員会から平成30年度基金事業の実施後の評価について、三重県知事あて答申をいただきました。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
効率性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
公益性	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する
情報発信度	*実施報告後に入力する	*実施報告後に入力する

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に入力する。
-------	--------------

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

Table 1: Summary of data points

[Section Header]				

[Detailed description of the data and its significance]

--	--	--

[Final summary and conclusions]